

# 第3回 長崎市文化振興審議会

令和3年3月23日（火）



# 新たな文化施設基本構想

## 令和元年 7 月

# 基本構想について

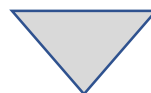
# 1. 上位計画との関係

# (1) 国の文化政策

## 文化芸術基本法

(前文：抜粋)

文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり、世界の平和に寄与するものである。



## 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律

(前文：抜粋)

- 劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点である。
- 全ての国民が、潤いと誇りを感じることで心豊かな生活を実現するための場として機能しなくてはならない。
- 現代社会においては、人々の共感と参加を得ることにより「新しい広場」として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も期待されている。
- 国際化が進む中では、国際文化交流の円滑化を図り、国際社会の発展に寄与する「世界への窓」にもなることが望まれる。

### 長崎市第四次総合計画

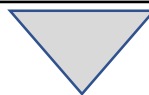
(施策の方向性)

#### ○ 芸術文化に触れる機会の創出

- 市民が利用しやすい文化施設の整備・運営を行い、市民の芸術文化活動の拠点としての機能の充足に努めます。
- 市民が芸術文化を楽しみ心豊かに生活できるよう、身近な場所で芸術文化に触れる機会の創出に努めます。

#### ○ 自主的な芸術文化活動の活性化

- 芸術文化を支える人材が育ち、芸術文化活動を通じて、世代間の交流や地域との交流が生まれ、地域の文化や伝統文化が継承される環境づくりに努めます。
- 市民の自主的な芸術文化活動の活性化と質の向上に努めます。



### 長崎市市民文化活動振興プラン

- 芸術文化に親しむ機会の創出（広げる）
- 芸術文化を担う人材育成（育む）
- 市民文化活動を支える環境の整備（支える）



- **市民ニーズに対応した文化施設の充実**  
多様化する芸術文化と市民ニーズに対応するため、音楽・演劇などに利用できる高機能な文化施設の整備や運営に取り組みます。

## 2. 長崎市の文化環境の現状分析



# (1) ホールの整備状況

長崎市公会堂の閉館以降、長崎市のホール型施設は、長崎ブリックホール（大ホール・国際会議場）、長崎市民会館文化ホール、長崎市チトセピアホール、メルカつきまち市民生活プラザホールがあります。



ブリックホール大ホール



市民会館文化ホール



チトセピアホール

## (2) ホールの利用状況

### 稼働率

ホール型施設の稼働率は、概ね60%から80%で推移しています。特に、長崎市公会堂の閉館に伴い、平成27年度以降は、長崎ブリックホール大ホールの稼働率が大きく上昇しています。

### 利用者数

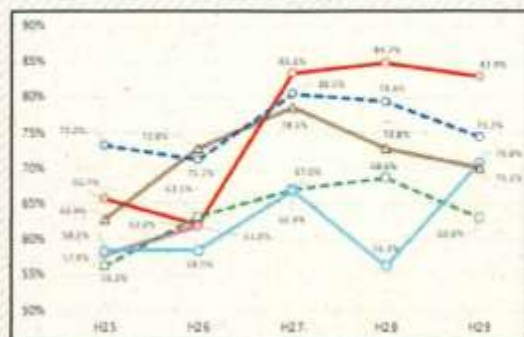
ホール型施設の利用者の総数は、長崎市公会堂の閉館に伴い、平成27年度以降は、約7万人減少しています。

### 練習室、リハーサル室の利用状況

長崎ブリックホールの練習室、リハーサル室の稼働率は、平成29年度には、練習室が約96%、リハーサル室は約83%と非常に高くなっています。

## (2) ホールの利用状況

### 【稼働率】

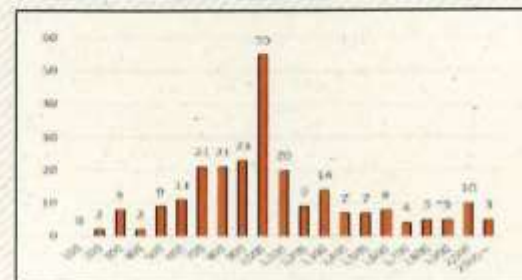


### 【主催者別利用状況】



### 【催事規模(入場者数)別の入場者数】

#### <公会堂>



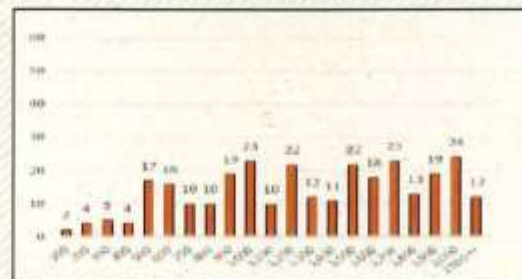
### 【利用者数】



### 【催事ジャンル別利用状況】



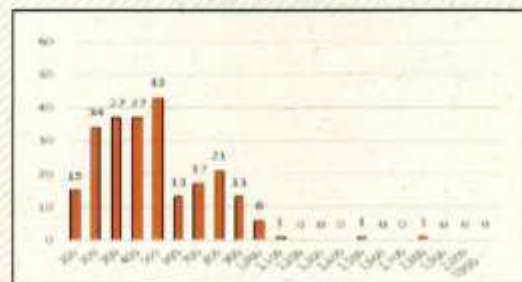
#### <ブリックホール大ホール>



### 【練習室、リハーサル室の利用状況】

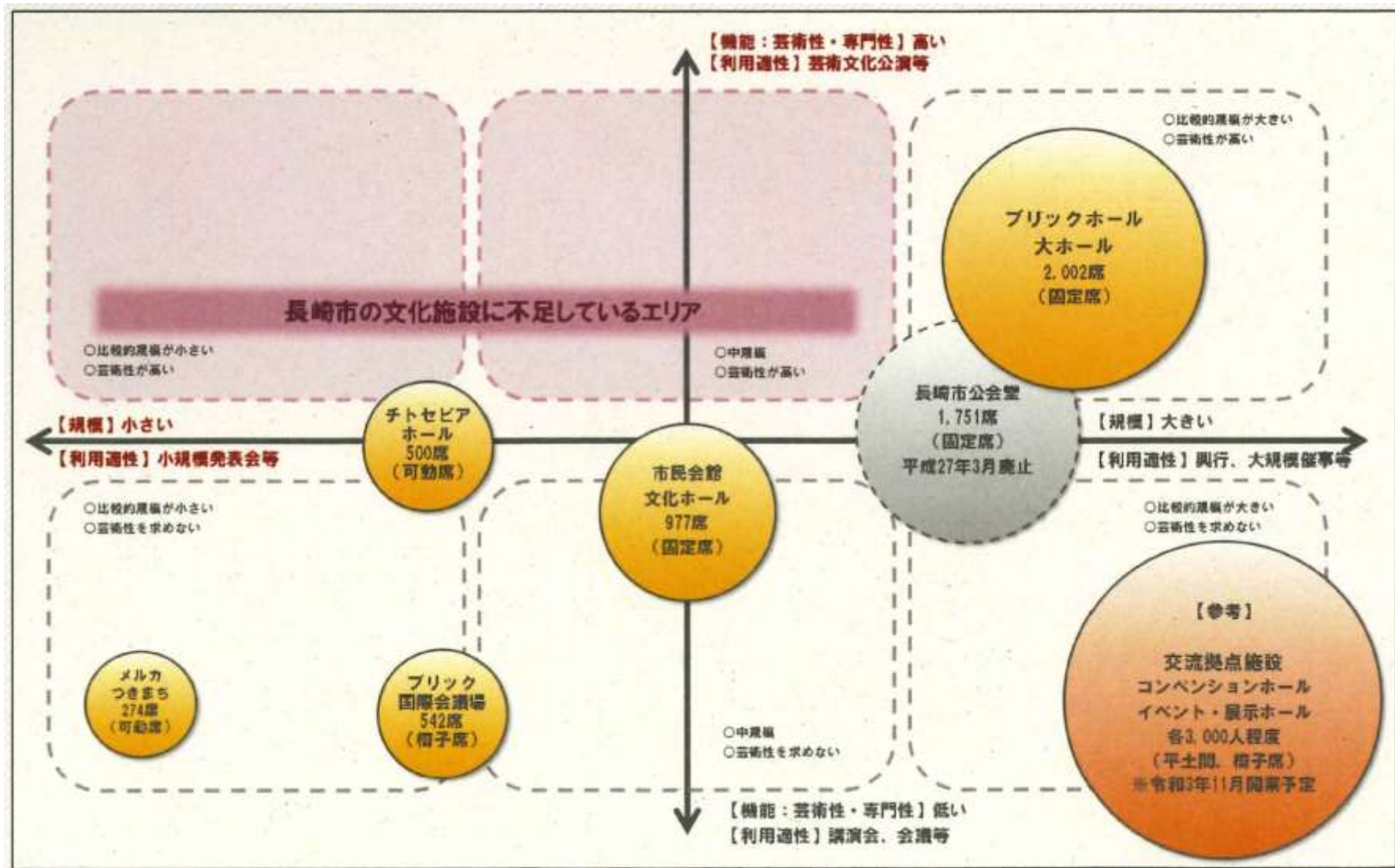


#### <市民会館文化ホール>





### (3) 現状と主な課題



#### 長崎市内の文化施設の現状と主な課題

- 市民の芸術文化活動の発表の場、練習・創造の場、市民の芸術文化の鑑賞の場が不足している。
- 芸術性や専門性の高い公演に対応できる機能を備えた中・小規模ホールがない。
- 市民の利用ニーズに合った、利用しやすい規模（中規模から小規模）と機能（芸術性、専門性の高い公演が可能）を備えたホールがない。
- 芸術文化活動に取り組む市民が集い、交流する場、市民が気軽に芸術文化に触れる場、芸術文化にかかわる人づくりや、芸術文化を通じたつながりを育む拠点がない。

### 3. 新たな文化施設の施設整備の考え方について出された意見

## ➤ **長崎固有の歴史や芸術文化を継承する。**

- 歴史をつなぐこと、歴史をつくることはとても大事なこと。
- 伝統を守るという考え方は必要。
- 国内外の人が長崎の文化を体感できる場所になるように。
- 長崎らしい文化を認識し、継承していく。
- 長崎の歴史、風土等を反映した特色ある芸術文化の発展を図る必要がある。
- 公会堂で文化団体がやってきた想いを新しいホールに活かすべき。

- **世界の平和に貢献する。**
- **永遠の平和を願う長崎国際文化センター構想の精神を継承する。**

- 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律にもあるように、文化は「世界平和」につながるものである。
- 長崎、広島は「平和」で世界に訴えかけることができるまち。
- 平和だから芸術文化が楽しめる。
- まちが元気になるホールというのも、ひとつの平和の象徴。
- 公会堂建設の礎となった長崎国際文化センター構想の精神は新たな文化施設に継承する必要がある。



- **国内外の質の高い芸術文化に触れる。**
- **芸術文化で世界とつながる。**

- 「新たな長崎の出島」という位置付けがいいのではないか。
- 世界の文化が集まる「現代の出島」としてはどうか。
- 鎖国時代に世界に窓を開いていた長崎だから、世界に発信する施設に。
- 長崎がコンセプトとして提案すべきものは「世界発信」。
- 国内外の芸術家が集まる拠点に。
- 劇場や美術館は公共であれ民間であれ、オープンした段階から世界の公共財になる。

- 「演じる」、「観る」など様々な立場で楽しみ、喜びがあふれる。
- 心の豊かさを実感できる。

- くunchiのように、長崎の人がいきいきとやっていることを、外から来た人が一緒に楽しんでもらえるような場になるとよい。
- 時間をかけて目の肥えた、耳の肥えた市民を増やし、市民が求める芸術のレベルを上げていくことが必要。
- いろんな人たちが行きたくなり、空気に触れたくて、留まりたくて、明日を生きる楽しさを感じることができる施設に。
- ホール利用者以外にも「あってよかった」と感じてもらえるような施設に。

- **人が集い、出会う。**
- **つながりを生み出す。**

- 芸術文化に興味のある人以外も日常的に集い、和むことができる憩いの場になって欲しい。
- たくさんの人が同じことに共感し、楽しめる場所になって欲しい。
- 子どもが遊びに来るような場所になって欲しい。
- 市民が交流する場所になって欲しい。
- 人と人のつながりは重要。芸術文化はその懸け橋になることができる。
- 「人とつながり、人を育み、人が生み出す」、関わりを創造する施設に。
- まちの賑わいの拠点となり、他の施設などとの連携により回遊性を創出するとよい。

- **芸術文化を通じて人を育む。**
- **芸術文化の力がまちへ波及する。**

- 将来のために、芸術文化を通して子どもたちの想像力を育む必要がある。
- 子どもたちが「あのステージに立ちたい」と思う施設に。
- 芸術の力をうまく社会と融合させ、どうやってまちを面白く、活性化させるかを考えることが必要。
- 人が増えるようなまち、魅力あるまちにするための施設でもあって欲しい。
- これからも変わらない芸術文化の価値は、同じ時間、同じ空間で芸術文化を共有する「関わりの創造」。
- 全国の都市が同じような課題を抱えており、芸術文化はその課題をクリアしていくために大きな機能を果たすことができる。

## ➤ 芸術文化を創造し続ける。

- ちゃんぽんのように違ったジャンルの文化が共生している芸術を長崎で創れたらよい。  
また、それを支える劇場をつくれるとよい。
- 育んできた文化的資源を磨き、長崎らしい芸術文化を創造・発信する。
- 芸術文化は人々の創造性を育む力を持っている。

## ➤ **芸術性や専門性が高く、多彩なジャンルに対応できる施設**

- 芸術性や専門性の高い公演に対応できる施設が必要。
- 多様なジャンルにも一定の使い勝手を有する施設にすべき。
- 世界の一流アーティストが来てみたいと思うような施設をつくってはどうか。
- 音響面でクオリティが高いホールが必要。
- クラシックは、専門性が高いホールができれば、プロだけでなく、演奏する側の市民も聴く側の市民も喜ぶ。

## ➤ 市民が使いやすく、ニーズに応える施設

- 市民のニーズに応えつつ、多様な文化の普及啓発を行っていく施設にすべき。
- 市民に寄り添い、市民が利用しやすい施設にすべき。
- 使いやすさを追求すべき。
- みんなが使えるホールが必要。

## ➤ 芸術文化の新たな施設としての役割を果たすことができる施設

- 人材育成は非常に重要であるため、事業として育成プログラムを持つべき。
- 独自の自主事業を制作するとともに、利用する団体もその方向性を意識した企画を行うような強力体制が必要。
- 今後益々多様化する劇場の役割に対応できる「懐の深さ」を持った施設が必要。
- すべての人に芸術文化を届ける役割を果たすべき。
- 新たな文化施設に、どのような課題をクリアできるクオリティを持たせるのか、考えるべき。
- 芸術文化をリードするような施設にすべき。



- **まちの誇りとなる施設**
- **将来にわたり、持続可能な施設**

- 長崎のブランドやステータスを高めるようなホール。
- まちのランドマークになるような施設になるとよい。
- シビックプライドのシンボルとなる施設にするとよい。
- 今後30年先、50年先を見据え、人口減少の中でも持続できる施設づくりを行う必要がある。

## 4. 施設整備の考え方

## 芸術文化と平和を世界と共有する

- 市民が芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感するとともに、長崎で創られた芸術文化を世界へ発信し、世界の芸術文化が交わる場所をめざします。
- 「芸術文化は人々の心のつながりや相互に理解し尊重しあう土壌を提供し、多様性を受け入れる心豊かな社会を形成するものであり、世界平和につながる」ことを、長崎で共有し、世界へ広げていくことをめざします。

## 魅せる・触れる

鑑賞の場として、人々を魅了する芸術性と専門性の高い優れた芸術文化の公演や、市民が創り上げた作品など、多様な演目の公演を楽しむことができる場所にします。

## 創る・発信する

市民の芸術文化活動や創作活動を支え、海外とつながり、育んできた文化的資源を磨き、長崎らしい芸術文化を創造・発信できる場所にします。

## つながる・育む

誰もがいつでも立ち寄ることができる開かれた空間とし、芸術文化を通して人が集い・つながり、世代や分野を超えた交流を育む場所にします。まちとつながり、賑わいを生み、人とまちを育む場所にします。

**鑑賞・発表機能**

**創造支援機能**

**交流促進機能**

## 鑑賞・発表機能

### 芸術性と専門性の高い公演に対応でき、多彩な演目の公演が可能な メインホール

- 基本的な設備を備え、先端技術を取り込んだ柔軟な対応が可能なホールを整備します。

#### 【客席関係】

- 座席数は1,000～1,200席程度
- 小規模な公演にも対応できるように多層構造とします。

#### 【舞台関係】

- プロセニウム形式
- 音楽や演劇・舞踊等多様なジャンルの公演に対応できる舞台規模、舞台設備、搬入口等を備えます。

## 創造支援機能

### 使いやすく、市民の創造活動を支える創造支援エリア

- 市民の芸術文化活動を支援する創造支援諸室を整備します。

### 【機能の例示】

- 小劇場機能を持ち公演会場としての利用ができるリハーサル室、日常的な練習場所として利用できる練習室 等

## 交流促進機能



### 芸術文化で交流と賑わいを生み出すエリア

- 芸術文化を通して、市民や観光客の多様な交流の場となり、市民の主体的な交流活動のほか、多様なイベントが開催できる諸室やスペースを整備します。

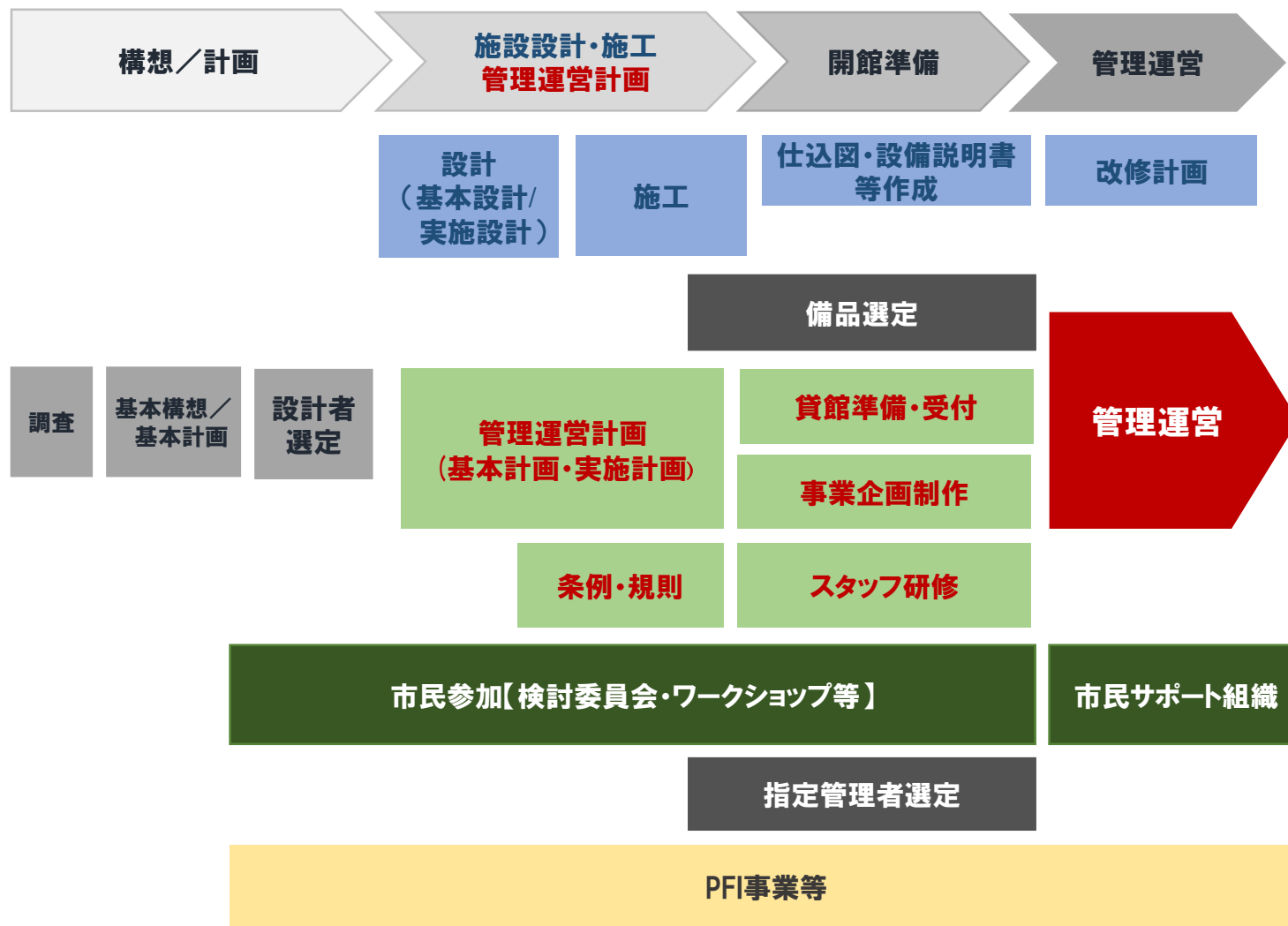
### 【機能の例示】

- 市民ギャラリー、ミーティングスペース 等



# 新たな文化施設基本計画素案 施設計画案の検討

# 劇場づくりのプロセス（一例）



# 「おべんとう理論」

- **決まっていること（前提条件）**

お弁当箱のサイズ

= 敷地条件、容積率、

家計の状況

= 予算

遠足の日

= 開館時期

- **考えること**

全体の献立（※ご飯の量はすでに決まっている）

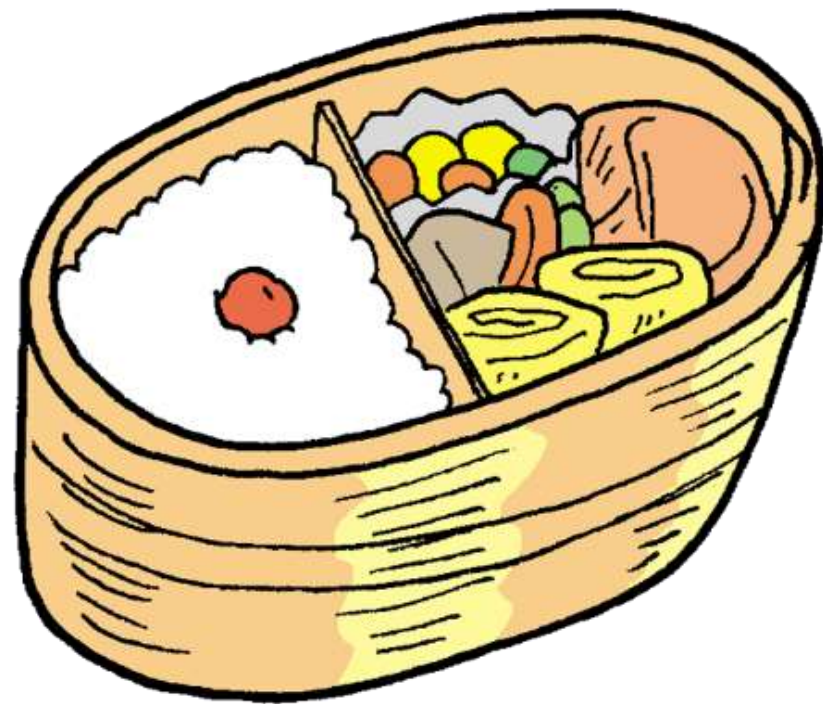
= 施設構成

メインのおかず：好物

= よく使う大事な機能

サブのおかず：好物と相性のよいもの

= 大事な機能を補完するもの



## 検討項目

### 1. 「機能」と「施設構成」の具体化

- (1) 鑑賞・発表機能
- (2) 創造支援機能
- (3) 交流促進機能
- (4) その他の機能

### 2. 施設規模および整備事業費

### 3. 近隣施設との連携

### 4. まちづくりの中での位置付け

# 1. 「機能」と「施設構成」の具体化

**鑑賞・発表機能**

**創造支援機能**

**交流促進機能**

**その他の機能**

### 鑑賞・発表機能

#### 1. ホール

- ・ 客席数は1,000～1,200席程度とする。
- ・ 客席は多層とし、1階席のみの利用にも配慮する。
- ・ 舞台はプロセニウム形式とし、クラシック音楽など、多様な演目に対応できる規模や設備を検討する。
- ・ 市民利用のしやすさに配慮した計画とする。

## (1) 鑑賞・発表機能【大ホール客席形式】

### 【客席形式】

客席の形式は以下の2つのタイプがある。  
ホールの用途により適切な形式が検討される。

#### ① 固定席

客席は舞台が見やすいようにスロープまたは段床で構成され、座席が床面に固定されている形式。

多くの劇場で採用されている、最も一般的な形式。

例) 秩父宮記念市民会館 (埼玉県)  
白河文化交流館 コミネス (福島県)

#### ② 可動席

客席の床面が段床ごと移動して舞台形式が変えられる、あるいは客席全体を平土間にして展示やパーティーなどの利用も可能とする形式。

例) 茅野市民館 (長野県)  
由利本荘市文化交流館カダーレ (秋田県)

# (1) 鑑賞・発表機能【大ホール客席形式 固定席型】



四国中央市市民文化ホール (1,007席、愛媛県)



白河文化交流館コミネス (福島県白河市)



北上市文化交流センター さくらホール (1,310席、岩手県)

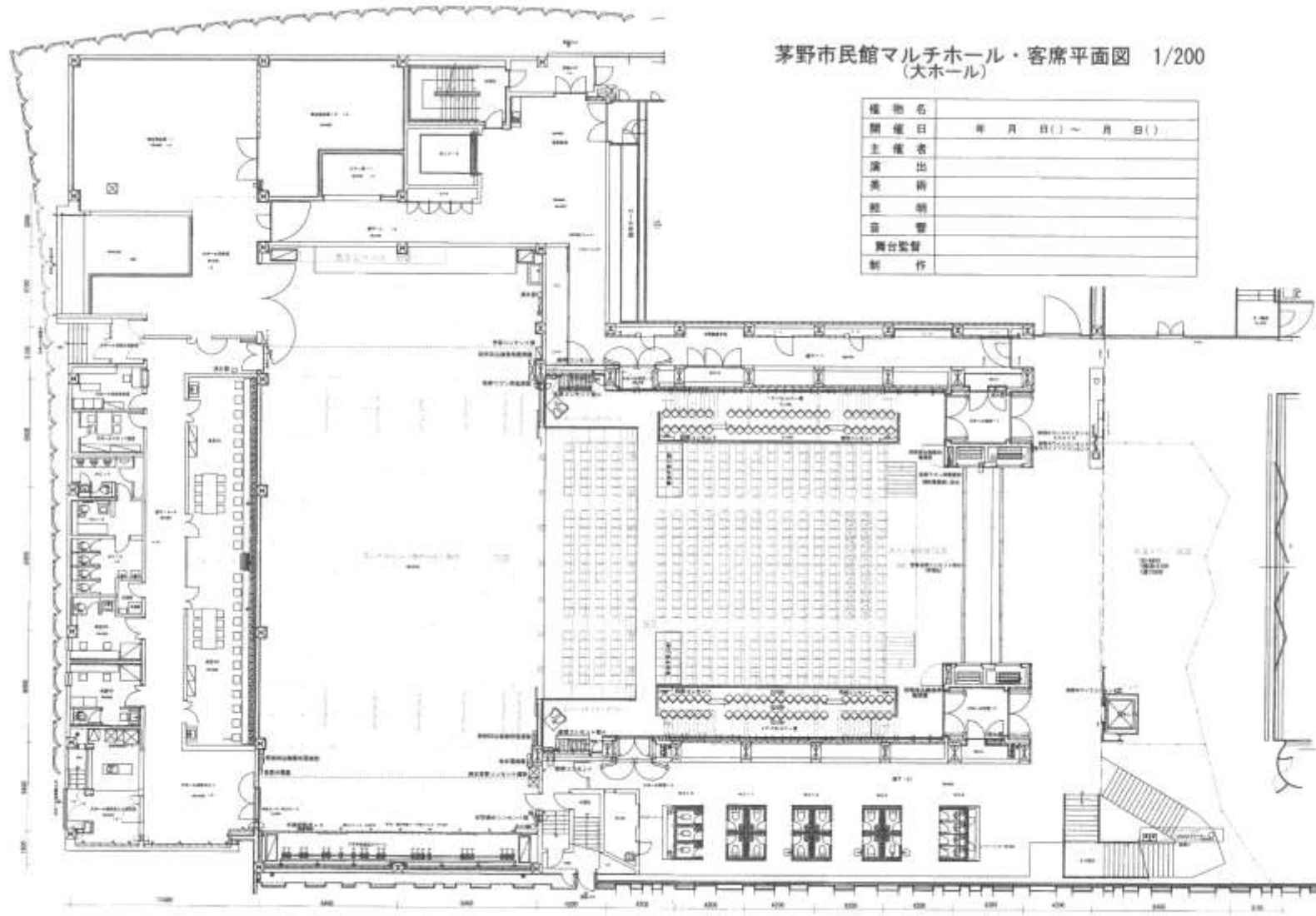


東広島芸術文化ホール くら (1,206席、広島県)



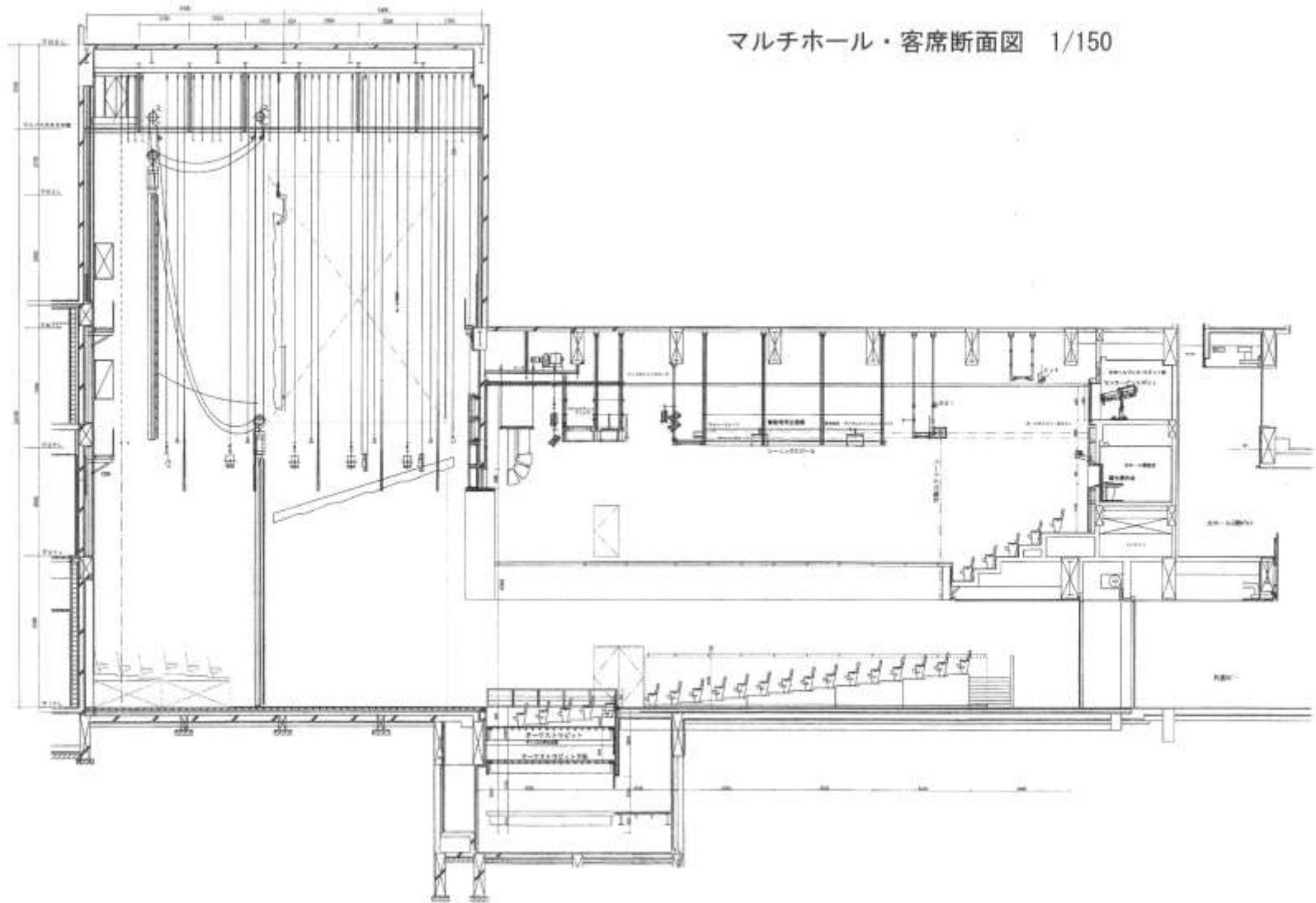
# (1) 鑑賞・発表機能【大ホール客席形式 可動席型】

## 【茅野市民館 マルチホール】



# (1) 鑑賞・発表機能【大ホール客席形式 可動席型】

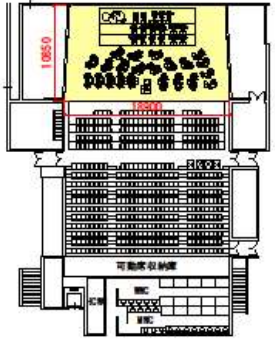

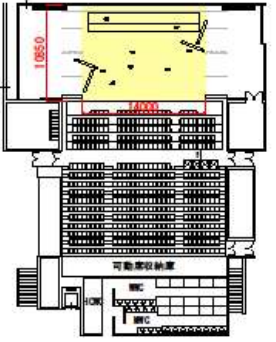

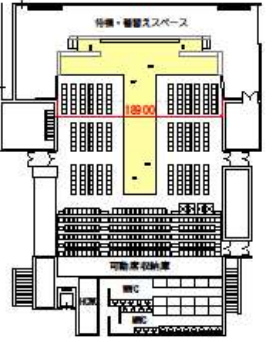

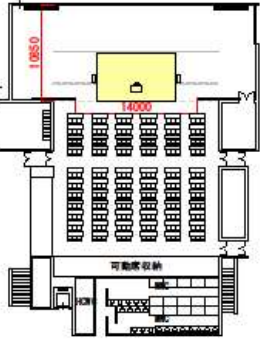

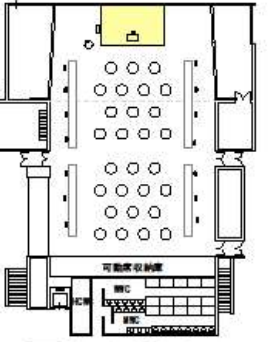

## 【茅野市民館 マルチホール】



## 【茅野市民館 マルチホール】

### ■利用パターン例

2014/03/01  
シアターワークショップ

クラシックコンサート	演劇	ファッションショー	講演会・セミナー（スクール形式）	式典・パーティ
<p>エンドステージ形式</p>  <p>2管編成オーケストラ 指揮者+演奏者 (58人)</p> 	<p>プロセニアム形式</p>  	<p>スラスト形式</p>  	<p>平土間形式</p>  	<p>平土間形式</p>  <p>□ ドリンク・料理サービスエリア</p> 
<p>必要な什器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラ用ひな壇 (平台・箱足・開き足)</li> <li>・指揮者台</li> <li>・指揮者用譜面台</li> <li>・演奏者用椅子</li> <li>・譜面台</li> </ul>	<p>必要な什器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台セット補助用 (平台・箱足・開き足)</li> <li>・地氈 (パンチカーペット)</li> <li>・パレエシート</li> </ul>	<p>必要な什器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設ステージ</li> <li>・ステージ階段</li> <li>・スタッキングチェア</li> </ul>	<p>必要な什器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設ステージ</li> <li>・ステージ階段</li> <li>・スタッキングチェア</li> <li>・折りたたみテーブル</li> </ul>	<p>必要な什器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設ステージ</li> <li>・ステージ階段</li> <li>・丸テーブル</li> <li>・折りたたみテーブル (料理サービス用)</li> </ul>

S-1:500



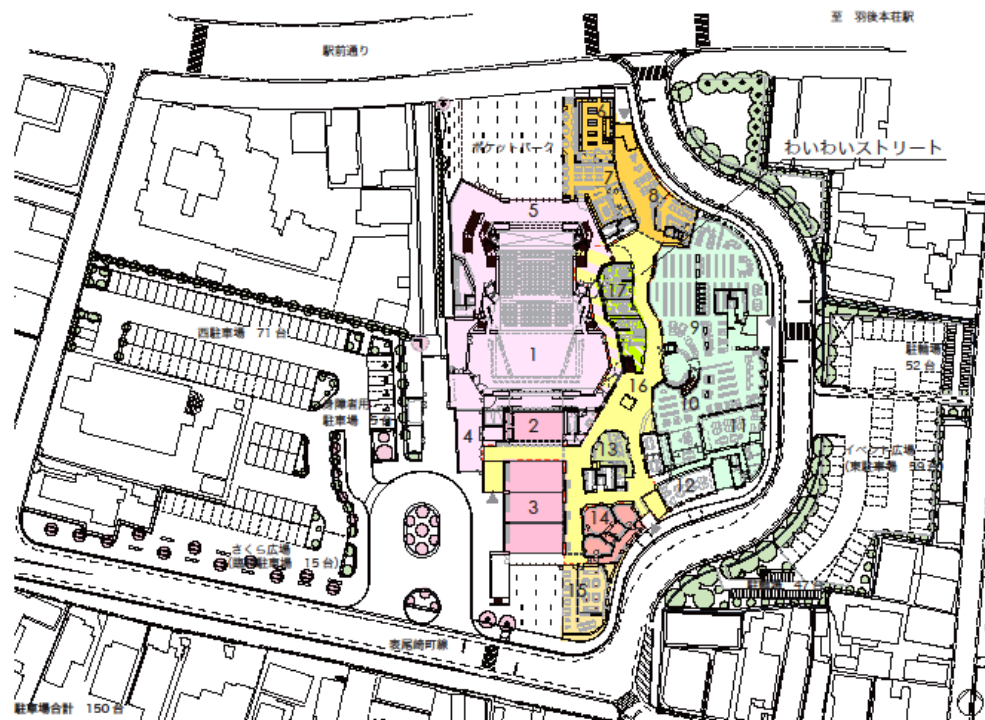
# (1) 鑑賞・発表機能【大ホール客席形式 可動席型】

## 【茅野市民館 マルチホール】

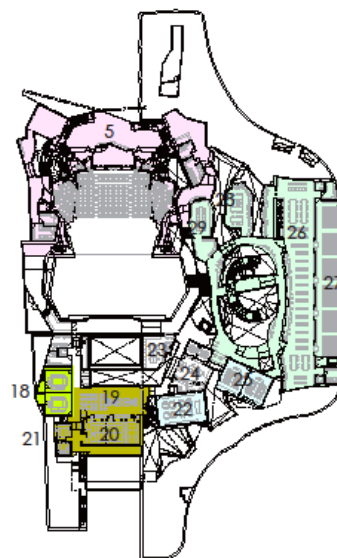


# (1) 鑑賞・発表機能【大ホール客席形式 可動席型】

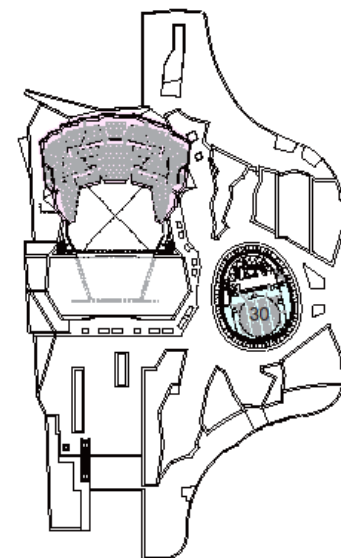
## 【由利本荘市文化交流館 カダーレ】



1階平面図



2階平面図



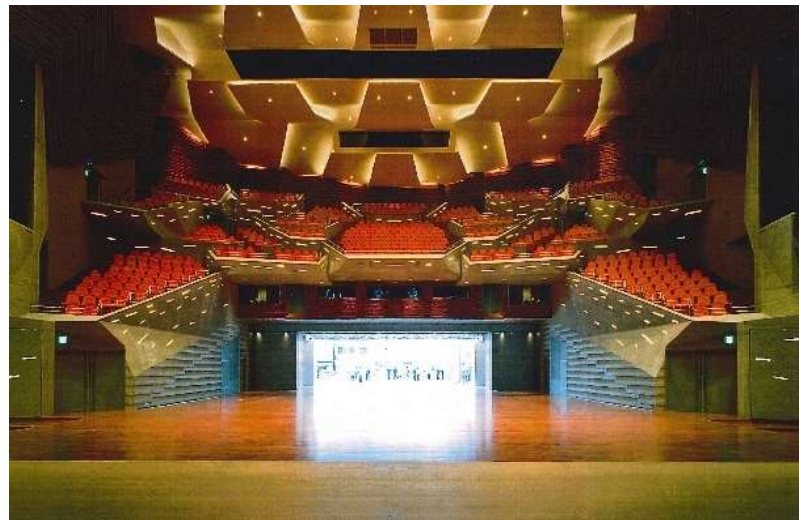
3階平面図

- |                       |                |                                    |              |
|-----------------------|----------------|------------------------------------|--------------|
| 1 大ホール                | 9 図書館1階        | 18 会議室 1,2                         | 25 研修室 1,2   |
| 2 市民活動室               | 10 児童図書室       | 19 和室前ロビー                          | 26 図書館2階     |
| 3 ギャラリー               | 11 中央図書館事務室    | 20 和室 1,2,3                        | 27 閉架書庫      |
| 4 搬入口                 | 12 カダーレ管理課事務室  | 21 茶室「白宇庵」、水屋                      | 28 学習室       |
| 5 ホワイエ                | 13 センタープラザ     | 22 自然科学学習室 1                       | 29 郷土資料室     |
| 6 由利本荘市物産館<br>「ゆりぶらざ」 | 14 スタジオ、練習室    | 23 本荘教育学習課事務室、<br>中央公民館事務室         | 30 自然科学学習室 2 |
| 7 レストラン「花てまり」         | 15 調理創作室、創作テラス | 24 教育研究所、<br>理科教育センター<br>視聴覚教育センター |              |
| 8 観光情報案内コーナー          | 16 わいわいストリート   |                                    |              |
|                       | 17 楽屋兼会議室      |                                    |              |



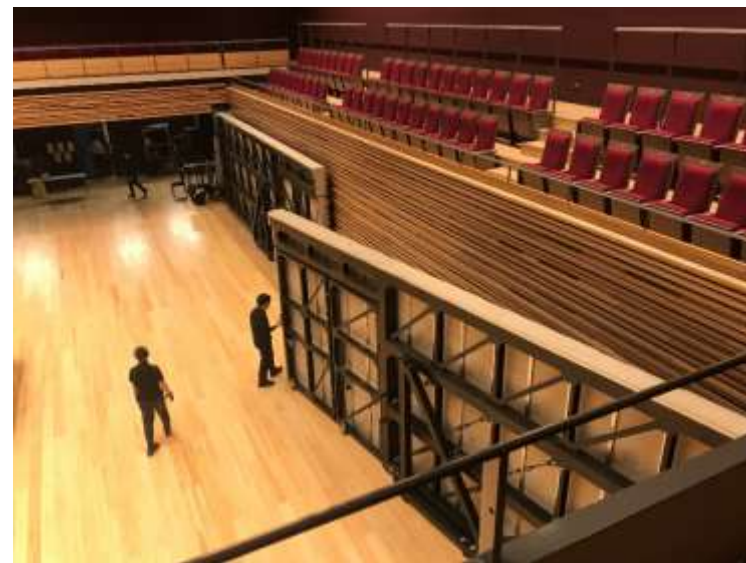
# (1) 鑑賞・発表機能 【大ホールのお客様形式 可動席型】

## 【由利本荘市文化交流館 カダーレ】



# (1) 鑑賞・発表機能 【大ホールの客席形式 可動席型】

## 【さいき城山桜ホール】



### 創造支援機能

#### 1. リハーサル室

- ・ ホール主舞台と同等の面積とし、床仕上げや音響性能など、リハーサルに適した機能をもたせる。

#### 2. リハーサル室の小劇場利用

- ・ リハーサル室は小規模な公演にも対応できる機能を検討する。

#### 3. 練習室

- ・ 創造支援を充実させるため、練習室を整備する。
- ・ 室数や各室の広さは将来的な活動を予測して検討する。



## (2) 創造支援機能 【リハーサル室兼小ホール】

小ホール（北上市文化交流センター 226㎡）

天井高：5.8m、最大175席



小・中スタジオ（神奈川芸術劇場 401㎡）

天井高：5.3m



創造支援室D（東大阪市文化創造館 193㎡）



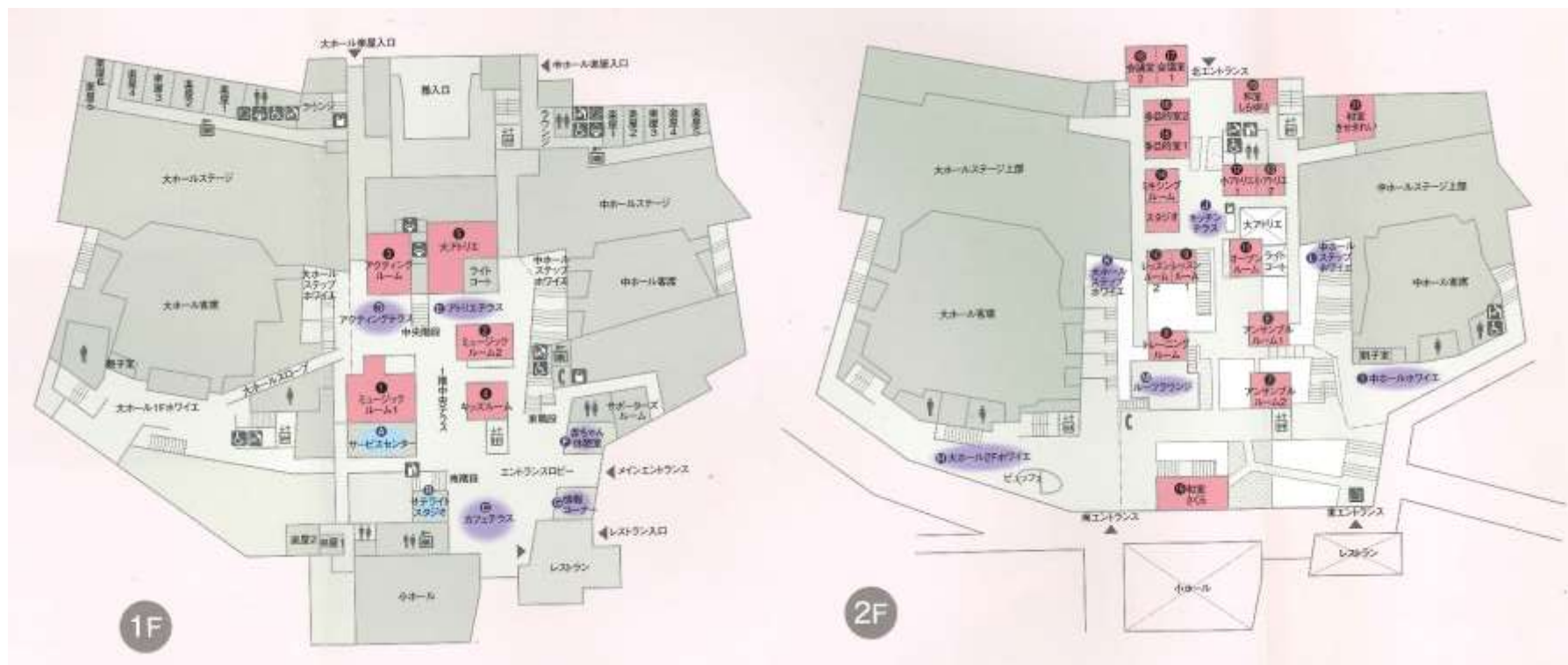
マルチスペース（大船渡市民文化会館 246㎡）

天井高：7.5m（キャットウォーク高さ）  
設備：ビデオプロジェクター



## (2) 創造支援機能 【アートファクトリー】

### 【北上市文化交流センター さくらホール】



## (2) 創造支援機能 【アートファクトリー】

### 【北上市文化交流センター さくらホール】



アクティブルーム( 73㎡)  
機能：遮音



大アトリエ ( 110㎡)  
機能：水廻り・ベニヤ貼りの床



大アトリエを展示利用  
(110㎡)



大アトリエ ( 110㎡)  
機能：水廻り・ベニヤ貼りの床



ミュージックルーム ( 58㎡)  
機能：遮音

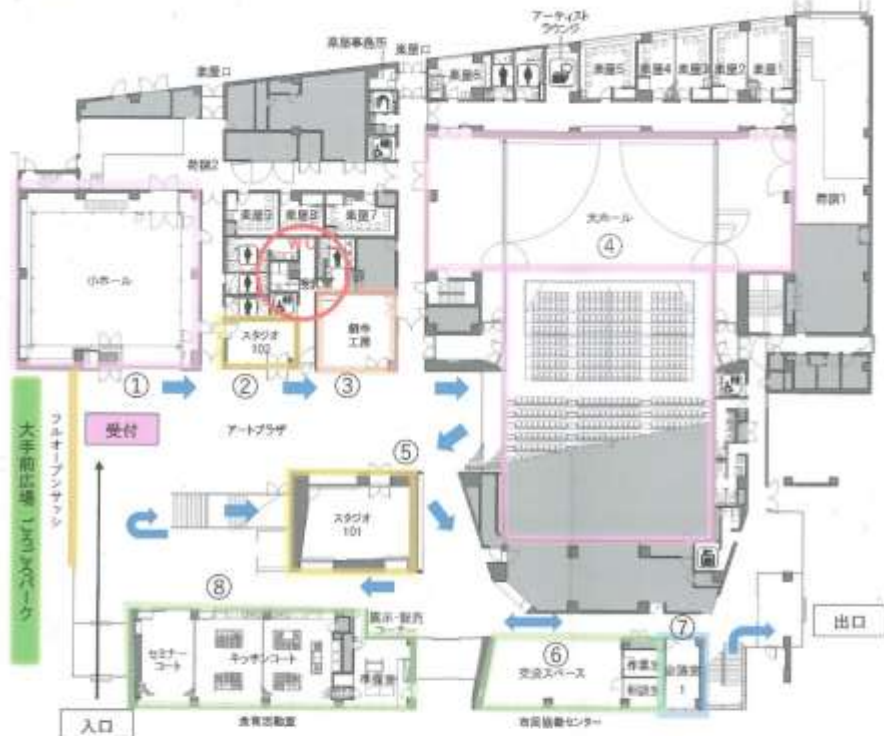


アンサンブルルーム (25㎡)  
機能：遮音



# (2) 創造支援機能 【アートファクトリー】

## 【さいき城山桜ホール】



**見学方式**

- 見学時間は50分以内。
- 見学時は適切な距離を保持接触を避けてください。
- トイレの利用は1階アートプラザに限りませう。
- 館内内のガラス面や段面に不用意にお手を触れないようお願いいたします。
- 敷内内はすべて禁煙です。

①小ホール	②スタジオ 102	③創作工房	④大ホール 舞台	⑤スタジオ 101
⑥和室	⑦スタジオ 202	⑧食育活動室	⑨会議室 1	⑩市民活動センター
⑪スタジオ 203	⑫会議室 2	⑬こくらっ子	⑭大ホール 客席	⑮スタジオ 201



**1階**

エントランスホール（アートプラザ）は、吹き抜け空間とガラス壁面の開放感が一層広がる空間。市民の皆さんの居場所として、休憩や打ち合わせ等、気軽に利用できるほか、アートプラザとして、ロビーコンサートや展示ができる。

小ホールとスタジオは、ドラムやティンパニー等、大型の楽器が使用でき、また、ダンスやバレエの練習場として利用することも可能である。

食育活動室は、キッチンに加え、調理などを開催できるセミナーコートと奥の下ごしらえや土のついたままの野菜でも扱うことができる準備室を併設する。

創作工房は、大ホール横の大道具や衣装製作、美術・書道活動に利用しやすい部屋となっている。

大手前広場（周辺）は、幅約16mのフルオープンサッシを採用、大ホール1階入口も幅約9mの開口を有しているので、広場から大ホールまで一休利用した様々なイベントに対応できる。

**2階**

少人数でジャンルを問わず利用できる部屋を配置し、電熱炉と水庫を備えた和室、スタジオ203・会議室は、大・小ホールの兼用としての機能も有する。

子育て・子育て支援室「こくらっ子」は、乳幼児と保護者を対象に、相互交流、遊びの場や子育て相談の場を提供するとともに、乳幼児の一時預かりの機能を有し、食育活動室と並んで当施設の複合機能を代表する。スタジオ201は、ホールのイベント時には、クロック等としても利用可能。

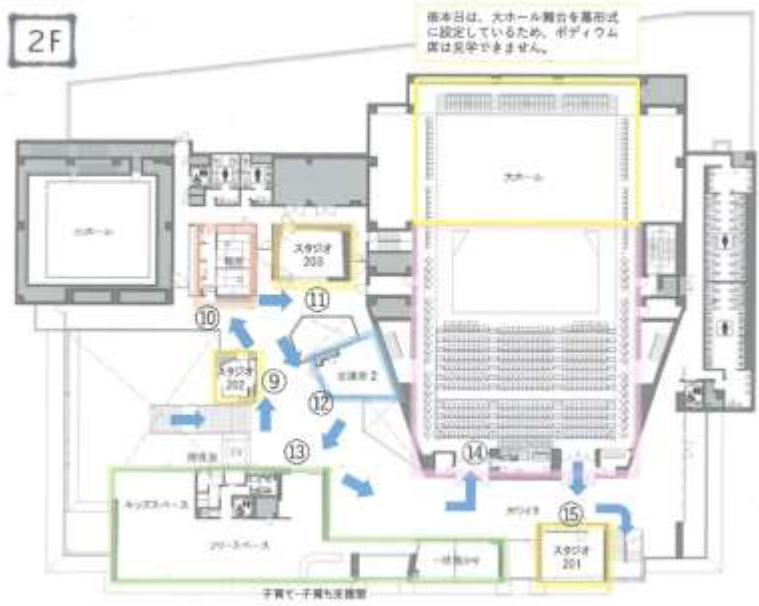


<施設概要>

建築面積:3,672㎡  
 延床面積:6,481㎡  
 建物の高さ:25.298m(地上3階)

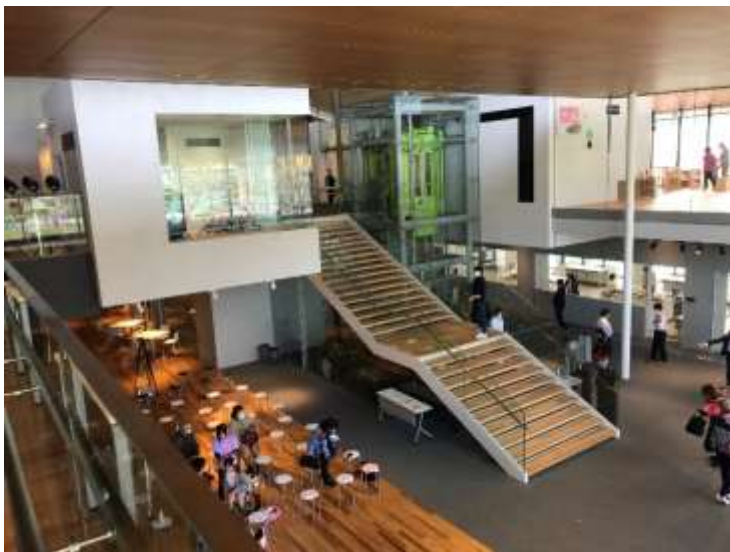
主要施設:

- 大ホール、小ホール、和室
- 食育活動室
- 市民活動センター
- 子育て・子育て支援室
- スタジオ、創作工房、和室、会議室



## (2) 創造支援機能 【アートファクトリー】

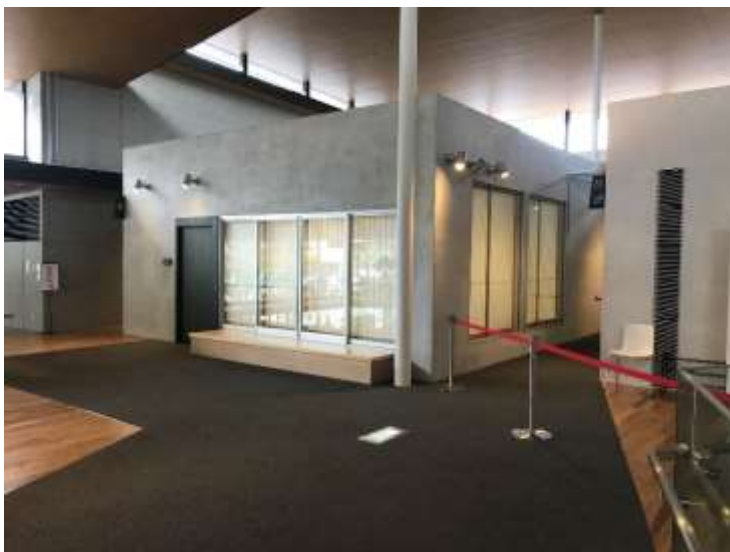
### 【さいき城山桜ホール】



アートプラザ



階段下の楽器庫



縁側付きの和室



創作工房

## 交流促進機能

### 1. 共用ゾーン

- ・ エントランスロビーなどでミニコンサートや展示等が行えるように検討する。

### 2. 屋外空間

- ・ 周辺施設と連動したイベントが開催できるよう、動線や電源等の設備対応を検討する。
- ・ 日常的に人が集まる機能を検討する。



### (3) 交流促進機能【ロビー・交流スペース・情報コーナー等】

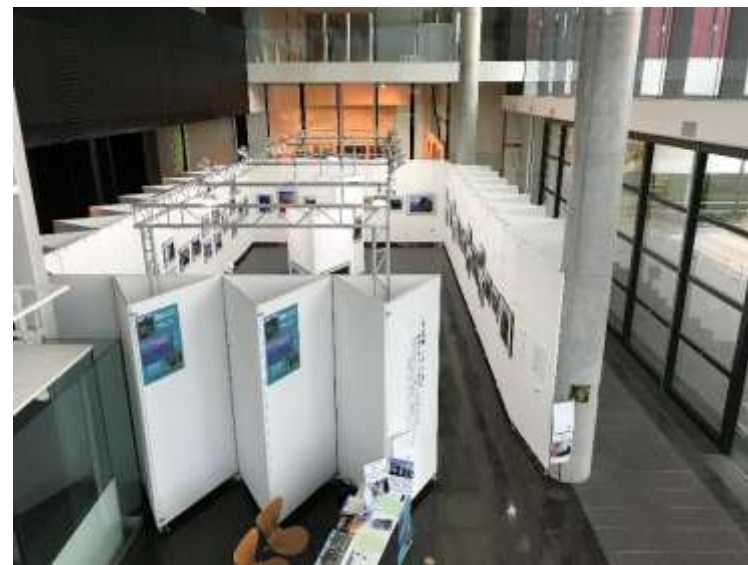


### (3) 交流促進機能【ロビー・交流スペース・情報コーナー等】





### (3) 交流促進機能【ロビー・交流スペース・情報コーナー等】

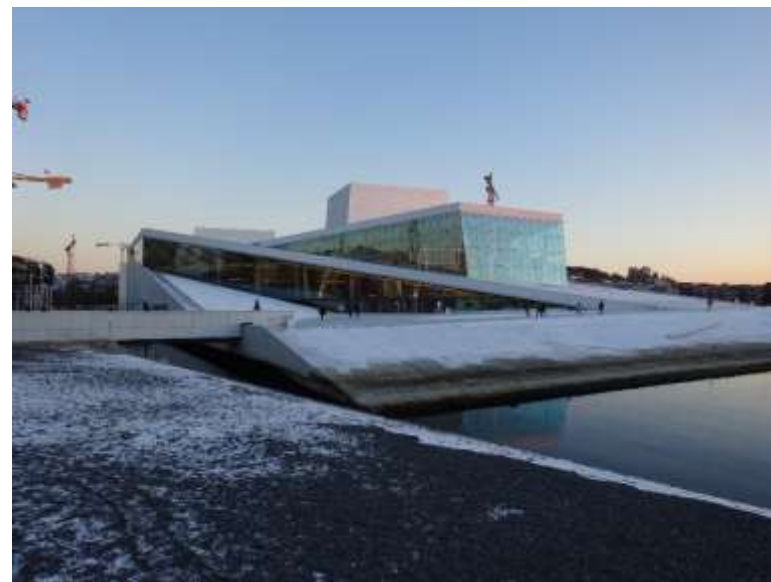


### (3) 交流促進機能【ロビー・交流スペース・情報コーナー等】





### (3) 交流促進機能【屋外空間】



### (3) 交流促進機能【屋外空間】

池袋駅西口前にある**池袋西口公園**の再整備事業  
老朽化した既存公園施設を解体し、新たに円形の劇場広場を整備





### (3) 交流促進機能【屋外空間】

#### TACHIKAWA STAGE GARDEN



### その他の機能

#### 1. 管理運営諸室

- ・ 管理運営に関わるスタッフのための必要諸室を設ける。

#### 2. 活動支援エリア

- ・ 市民および市民文化団体、あるいは事業に関わる組織の活動を支える機能を検討する。

## 2. 類似施設の整備事業費

### 整備事業費

類似施設を参考とし、建設物価の動向に合わせて試算を行う。

### 3. 配置計画の検討

#### ■ 敷地の特徴

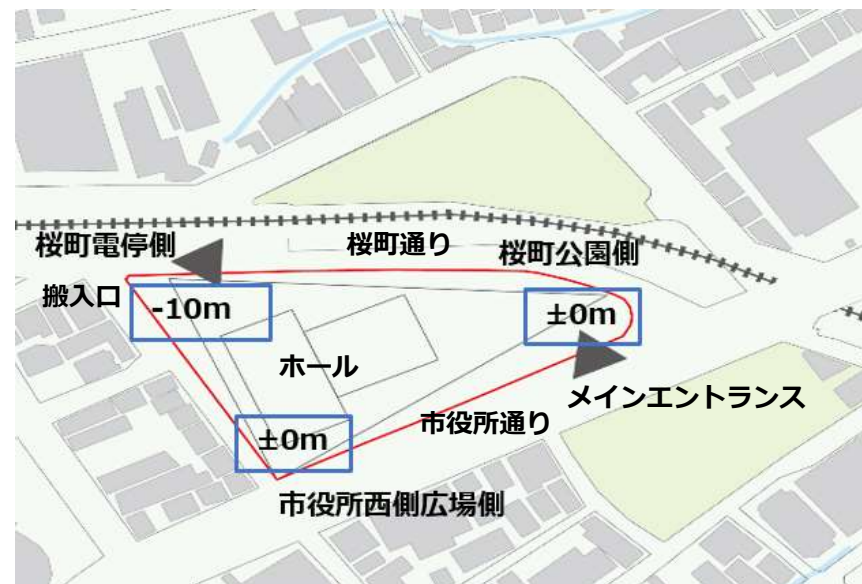
本敷地には2つの特徴がある。

#### 1. 敷地の平面形状

敷地形状は三角形であり、桜町公園側の交差点は鋭角のコーナーになっている。

#### 2. 敷地のレベル差

敷地には傾斜があり、市役所西側広場側は水平であるが、桜町電停側は約10mの高低差がある。この両側をつなぐ道路は、桜町電停側に向かって急勾配の下り坂である。





## 3. 配置計画の検討/配置計画のポイント

### ① 施設構成と配置の考え方

#### 1. 新たな文化施設の施設構成

- ・ 鑑賞・発表部門（ホール）、創造支援部門（リハーサル室、練習室等）、交流促進部門（エントランスロビー等）、その他（管理諸室、機械室、駐車場等）とする。

#### 2. ホールの配置

- ・ 施設の配置計画に当たっては、最も大きな建築面積が必要となるホールの配置を最優先する。
- ・ 桜町公園側の交差点は鋭角なコーナーであり、ホールは配置できないため市役所西側広場側に寄せて配置する。
- ・ 人の動線（観客、ホール以外の施設利用者、出演者・主催者、管理者等）と物の動線（舞台、リハーサル室への搬出入、ごみの搬出など）を考慮しながら、ホール以外の施設配置を検討する。

### 3. 配置計画の検討/配置計画のポイント

#### ■ 平面配置計画案

ホールの軸線（舞台と客席のセンターラインの線）を東西軸にする案と南北軸にする案が考えられる。

#### 1. たて型（東西軸）

- ・ 市役所西側広場側に直行する方向は、敷地の距離が長さが、舞台の奥行や客席の奥行に制約が出る可能性がある。また、楽屋を舞台の後ろ側に配置することは困難である。

#### 2. よこ型（南北軸）

- ・ 市役所西側広場側に平行な方向は十分な長さがあり、敷地によるホール配置の制約は少ない。

#### 3. ななめ型（南北軸の別案）

- ・ よこ案のバリエーションとして、桜町通りに平行な軸線とする案も考えられる。

## 3. 配置計画の検討/配置計画のポイント

### ③ 断面計画（動線計画）

ホールは不特定多数の人びとが集まる施設であり、分かりやすい動線や緊急時の安全な避難経路の確保が重要である。

#### 1. メインエントランス

- ・ メインエントランスは市役所通り側とし、ホールの配置が困難な鋭角なコーナー側に設置する。

#### 2. ホールの搬入

- ・ ホールの搬入条件は、ホールの評価に大きな影響を与えるため、周辺道路と舞台レベルの関係は重視しなければならない。
- ・ 舞台への搬入は桜町電停側の地盤レベルが低い位置とすることを基本とする。

## 3. 配置計画の検討/配置計画のポイント

### ⑤ 断面計画面案（舞台のレベル設定）

断面的な配置については、舞台のレベル設定により以下の3つの案が考えられる。

#### 1. ±0m案（市役所通りを基準とした舞台レベルの表記。以下同じ。）

- ・ 市役所通りのレベルに舞台を設置する。
- ・ 搬入口は-9mのレベルに設け、搬入用エレベーターで舞台へ運ぶ。（ストロークは9m）
- ・ 市役所通りからの搬入が許可される場合には、舞台レベルは+1m。

#### 2. -3m案

- ・ 市役所通りのメインエントランスのレベルに、一階席後方の扉のレベルを合わせる。
- ・ 舞台の後方扉と中通路とのレベル差は3m。中通路と舞台は同レベルとすることから、舞台レベルは-3mのレベルとなる。
- ・ 搬入口は-9mのレベルに設け、搬入用エレベーターで舞台へ運ぶ。（ストロークは6m）

#### 3. -9m案

- ・ 舞台レベルを桜町通りから直接搬入できるレベルとする。
- ・ 舞台レベルは、市役所通りとのレベル差-10mにトラックの荷台高さ+1mを加えて-9mとなる。
- ・ 搬入用エレベーターは不要。
- ・ 市役所通りのメインエントランスから-9mのレベルに舞台があるため、メインエントランスのレベルは2階席のホワイエレベルとなる。

### 3. 配置計画の検討/配置計画モデル案

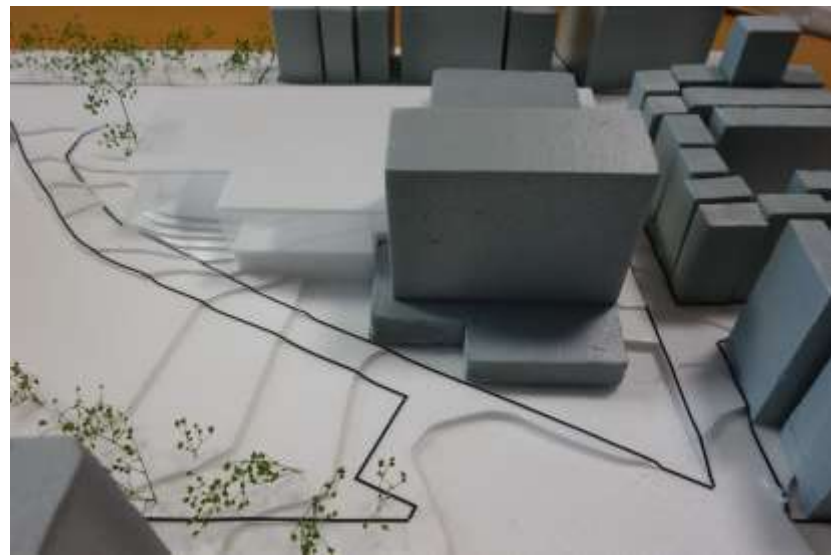
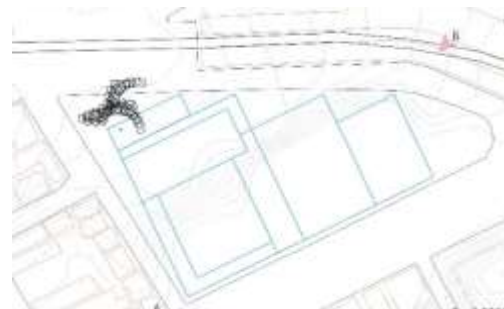
#### ■ 配置計画モデル案

		市役所通りに対する大ホールの配置計画		
		たて型	よこ型	ななめ型
市役所通りに対する舞台の 高さ	±0m		③	
	-3m	①	④	⑤
	-9m	②		

### 3. 配置計画の検討/配置計画モデル案

#### ① たて型 × - 3m (桜町電停側からEVを利用して搬入)

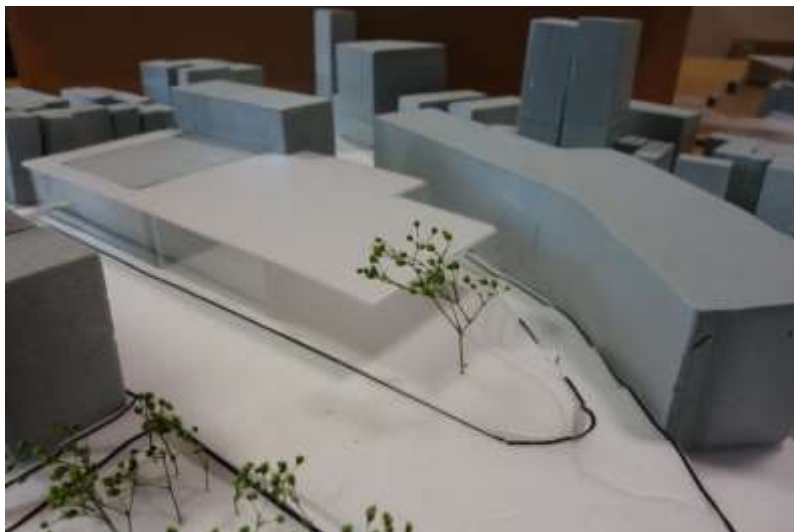
- ・ 観客動線は、市役所通り側から段差を使わずに1階席後方にアクセスできる。
- ・ 市役所通り側にホワイエが配置されるので、全面ガラス張りの開放的な建物にできる。
- ・ たて型にホールを配置しているので、創造支援機能や交流促進機能の施設計画に有利。
- ・ 奈落レベルに搬入し、舞台へは搬入エレベーターを使用する。



### 3. 配置計画の検討/配置計画モデル案

#### ② たて型 x - 9m (桜町電停側から舞台に直接搬入)

- ・ 建物の大部分が地下に埋められるので、大規模な土工事が必要。
- ・ 観客動線は、メインアプローチがホールの2階席レベルとなる。
- ・ たて型にホールを配置しているので、創造支援機能や交流促進機能の施設計画に有利。
- ・ 舞台に直接搬入できる。



### 3. 配置計画の検討/配置計画モデル案

#### ③ よこ型 × ±0m (市役所西側広場側からスムーズに搬入できる計画)

- ・ 観客動線は、市役所通り側から段差を使わずに1階席中通路レベルにアクセスできる。
- ・ よこ型は敷地に対してシンプルなホール配置であり、ホールの計画は検討しやすい。
- ・ ホール以外の機能は、配置計画を工夫する必要がある。
- ・ 市役所西側広場側からの搬入が許可される場合には、舞台に直接搬入できる。
- ・ 許可されない場合には-10mの桜町電停側から搬入し、舞台へは搬入エレベーターを使用する。

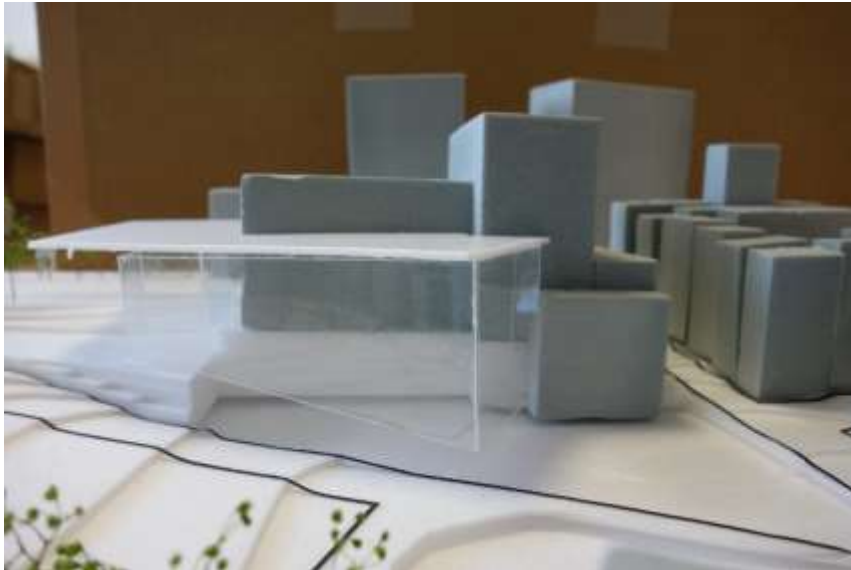




### 3. 配置計画の検討/配置計画モデル案

#### ④ よこ型 × - 3m (桜町電停側からEVを利用して搬入)

- ・ 観客動線は、市役所通りから段差を使わずに1階席後方にアクセスできる。
- ・ よこ型は敷地に対してシンプルなホール配置であり、ホールの計画は検討しやすい。
- ・ ホール以外の機能は、配置計画を工夫する必要がある。
- ・ 桜町電停側から搬入し、舞台へは搬入エレベーターを使用する。



### 3. 配置計画の検討/配置計画モデル案

#### ⑤ ななめ型 × - 3m （桜町電停側からEVを利用して搬入）

- ・ 観客動線は、市役所通り側から段差を使わずに1階席後方にアクセスできる。
- ・ よこ型は敷地に対してシンプルなホール配置であり、ホールの計画は検討しやすい。
- ・ ホールの配置が桜町通り側に寄るので、ホール以外の機能は、市役所西側広場側に配置できる。
- ・ 市役所通り側は全面ガラス張りの開放的な建物にできる。
- ・ 桜町電停側から搬入し、舞台へは搬入エレベーターを使用する。



## 4. 本日の検討のポイント

基本構想ですでに検討した内容について、敷地が決まったことにより、さらに検討を深めたいポイント。

### ①鑑賞・発表機能

- ・メインホールが持つ機能  
(幅広い演目に対応、特定のジャンルに配慮、マルチに使える可動型、等)

### ②創造支援機能

- ・リハーサル室  
(機能、規模、小劇場対応時に重視すること)
- ・練習室  
(機能、規模、室数)

### ③交流促進機能

- ・立地等を考慮し、特に付加することが望ましい機能  
(まちにひらかれる工夫、まちの大事なイベントの際の役割、等)

### ④その他の機能

- ・管理運営計画（今後検討）に配慮した、必要な諸室